

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市総台7-12-6 コートピナス102
評価実施期間	令和7年6月10日～令和7年10月30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	AIAI NURSERY南流山 アイアイ ナーサリーミナミナガレヤマ		
所 在 地	〒270-0162 千葉県流山市木3丁目12-1		
交通手段	つくばエクスプレス 南流山駅		
電 話	04-7197-2478	FAX	04-7197-2479
ホームページ	<a href="https://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/minami_nagareyama/">https://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/minami_nagareyama/</a>		
経 営 法 人	AIAI Child Care株式会社		
開設年月日	2022年4月1日		
併設しているサービス	児童発達支援 AIAI PLUS		

(2) サービス内容

対象地域	流山市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	5名	9名	10名	12名	12名	12名	60名		
敷地面積	907.00㎡			保育面積		525.08㎡			
保育内容	0歳児保育			延長保育					
	休日保育		障害児保育				子育て支援		
健康管理	定期健康診断 歯科・内科(年2回)、毎月の身体測定								
食事	自園給食 手作りおやつ								
利用時間	7:00-20:00								
休 日	日・祝・年末年始								
地域との交流	保育体験会(年3回)、子育て相談会								
保護者会活動	運営委員会								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	15	6	21	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	18	0	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	1	1	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	流山市役所保育課	
申請窓口開設時間	午前8時30分から午後5時15分	
申請時注意事項	お子様の健康状態・保育園生活での不安なことはお尋ねください	
サービス決定までの時間	1ヵ月程度	
入所相談	流山市役所こども家庭課へ相談。随時、園見学は対応	
利用代金	利用子どもが居住する市区町村が定める利用者負担（保育料）	
食事代金	主食費1000円 副食費5000円・	
苦情対応	窓口設置	各クラス担任
	第三者委員の設置	石井 嘉隆

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【保育理念】 一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と元気が溢れた園を創造すること</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○向上目標 人間関係の向上・精神衛生の向上・身体機能の向上</li> <li>○育成目標 社会力の育成・養護力の育成・人間力の育成</li> </ul>
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児教育プログラム（知識教育、思考教育）、</li> <li>○大型木製遊具AINI</li> </ul>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>「AIAI NURSERY」では、「もう一つの家」をコンセプトに家庭的なあたたかい雰囲気の中で、子どもたち一人ひとりの要求に耳をかたむけ、寄り添い、それぞれが「生まれながらに持った素晴らしい力」を大切にしながら、豊かな成長を遂げられるよう見守っています。全職員で全園児の保育をするアットホームな保育園です。また、幼児教育のカリキュラムが充実し、子ども達が主体的に楽しみながら考える力を育むことができます。</p>

## 福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
1. 保育理念の因数分解を行い、新しい視点で保育の質の向上に取り組んでいます。
全職員が参加した会議で保育理念の因数分解を実施し、今年度は3歳以上児の縦割り保育を本格的に取り入れています。対象の園児をA・Bの2チームに分け、異年齢のこどもの保育を合同で行うことで、年長児が年少児の世話をするなど、こどもが主体的に行動でき成長できる機会を増やしています。制作など年齢別に実施することが望ましい保育は年齢別に横割りで月・水・金曜に実施し、異年齢合同の縦割り保育は火・木曜に行うなど、年齢別と縦割りのバランスを考えた保育を実践しています。保護者にはチーム分けの際に縦割り保育について説明し、個別面談時にも意見を聴取しています。
2. 職員の意見を聞く機会を多く設け、良い提案は積極的に取り入れています。
職員会議等の定例会議や全職員との年3回の1on1ミーティングを通じて施設長と職員が積極的に意見交換しており、良い意見があれば保育の場や事務運営に積極的に取り入れています。保育に関しては2歳児のトイレトレーニングの可視化により園児のモチベーション向上と職員・保護者との情報共有に効果があり、事務運営に関しては毎月作成が必要な書類一覧表を作成し事務所内に掲示したことで、計画性や効率性が改善されています。また、パート職員だけのパート会議を隔月で開催し、パート職員ならではの目線での意見を発言する場を設けるなど、職員全員で保育の質の向上に取り組んでいます。
3. 保育者はこどもが園生活がスムーズに、楽しく過ごせるよう、年齢に応じた様々な工夫をしています。
2歳児では「トイレカレンダー」(保育室内)と「トイレチェック表」(トイレ内)に個々にシール貼りを楽しみながらトイレトレーニングに取り組んでいます。幼児クラスでは自分のロッカーの中を整理できるよう、見本の写真を掲示することで楽しんで取り組んでいます。また、近くにある高齢者施設へ出かけ、ダンスを披露したり、季節の歌の発表をしたり、一緒に塗り絵や折り紙をするなどの内容で、高齢者と交流する計画が進んでいます。
さらに取り組みが望まれるところ
1. 縦割り保育の成果と課題を整理し、保育の質の向上に取り組むことに期待します。
3歳以上児の縦割り保育に関し、従来の横割り保育と比較しこどもの成長に効果があった点や、横割り保育の優れている点を総合的に評価・検証し、次年度の保育方針に活かしていくことに期待します。保護者からは異年齢のこどもと一緒に成長していくプラス効果を評価する意見と従来の横割り保育を望む意見があるようです。保護者には検証結果を含めて十分な説明をし、理解を深めていただいたうえで、保護者と園の協力のもと、保育の質の向上を目指した積極的な取組を継続していくことに期待しています。
(評価を受けて、受審事業者の取組み)
今年度から取り組んでいる縦割り保育について、課題が見つかりました。保護者への理解、縦割り保育の良さをしっかりと伝えていき、利用者が満足出来る園として取り組む必要があると感じました。懇談会や、運営委員会を通して、保護者様と関わりを増やしていき、協力をして保育の質を高めていきたいと思っております。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				□実施数	□未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
		職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。			3	0	
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0
		利用者満足度の向上	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0
			14 教育及び保育の質の向上への取り組み	3	0
	2 教育及び保育の質の確保	提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
		項目別実施サービスの質	21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。			4	0	
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6	0	
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。			6	0	
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。			4	0	
28 家庭との連携が十分図られている。			3	0	
29 地域社会との連携が十分図られている。			3	0	
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。			3	0	
子どもの健康支援		31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0	

		食育の推進	33	食育の推進に努めている。	5	0
5	安全管理	環境と衛生	34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0
		事故対策	35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0
		災害対策	36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0
6	地域	地域子育て支援	37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0
計					159	0

## 項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目		標準項目	
1	理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント)			
保育理念や基本方針(行動指針)は、法人のホームページや施設のパフレット、リーフレット、重要事項説明書に記載しています。AIAIグループ経営理念、保育理念、事業目標は額に入れてエントランスに、園目標は事務室内に掲示することで、職員に周知しています。非常勤職員を含めた全職員が参加する保育理念の因数分解を年2回以上行い保育の質の向上のための論議を行っています。今年度は3歳以上児の縦割り保育を取り入れ、異年齢の子どもと一緒に過ごす機会を増やしています。			
2	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント)			
入園希望者に対しては、園見学、子育て相談会(年3回実施)にて、入園内定後は入園説明会にてパワーポイントで作成した資料や施設に掲示しているドキュメンテーションを用いながら、保育理念や運営方針について分かりやすく説明しています。保護者と保育理念・運営方針に基づく保育実践や幼児教育の内容について話し合う場としては、年2回の懇談会、個人面談等の機会を設けています。また、実践面を日常的に伝える手段としては、連絡帳アプリや送迎時の時間を活用するほか、広報誌の発行やブログに写真などを掲示することで、保育の可視化と継続的な情報発信に努めています。			
3	事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	運営の透明性の確保に取り組んでいる。
		<input checked="" type="checkbox"/>	各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のものと策定されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
(評価コメント)			
昨年度の事業計画の反省点や保育理念の因数分解の結果を反映し、年間の計画、行事の計画、研修の計画を織り込んだ事業計画を策定しています。年度末の運営委員会にて事業報告と次年度の事業計画を説明し、第三者委員の意見・要望も踏まえて事業計画を確定しています。事業計画は年度初め(3月)の職員会議にて周知・確認し、毎月の職員会議では、翌月の行事の確認、保育内容やねらいを確認するとともに、実施状況を踏まえて定期的に振り返りを行っています。運営委員会の議事録や行事後の保護者アンケート結果はエントランスのカウンターに設置し、保護者が保育の実態、運営の透明性をいつでも確認できるようにしています。			
4	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント)			
保育実践における報告や改善策を論議するため、実際の保育場面を録画した動画を使用した少人数制のカンファレンスを2か月に1度実施しています。テーマに応じ、パート職員も含めた少人数で実施することで、意見を言いやすい場になっています。全職員と定期的に1on1ミーティングを行い、業務状況や人間関係を含めた勤務状況を確認し、職員が自ら保育力・人間力・コミュニケーション能力を高められるよう、必要な助言を行っています。毎月の職員会議のほか隔月にパート会議を開催し、パート職員の目線での気づきも保育に取り入れる運営にしています。全職員が確認すべき書類を施設長が「閲覧ファイル」としてバインダーにまとめ、職員が毎朝チェックし押印することで、情報共有を強化しています。			
5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/>	遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント)			
全職員が年1回、AIAIグループのe-learning資料によるコンプライアンス研修を必須で受講しています。また、AIAIグループの不適切保育・虐待防止研修には毎年職員1名以上が参加し、その結果を受講者が講師となって他の職員へ周知しています。これらの研修を通じ、法令遵守や倫理、個人情報管理、プライバシー保護等に関する意識を高めています。また、コンプライアンス違反の通報窓口を職員ロッカー室内に掲示し、職員に周知しています。			

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント)			
保育ICTを導入し、こどもの出欠管理や連絡帳、午睡管理などに活用しています。施設運営に必要な書類の作成・管理等の業務をデジタル化することで職員の業務負担も軽減しています。職員からの提案で毎月作成が必要な書類の一覧表を作成し、事務所内に掲示することで、職員が事務運営を計画的に進め、業務効率化や締切管理強化につながった事例もあります。勤怠管理はソフトを導入し有給休暇の消化率や時間外労働のデータ等を施設長が把握しています。定期的にチェックすることで、シフト勤務や業務量の見直しに活用しています。また、役割分担表や行事担当表を年初に策定し、職員間の業務のバランスに配慮しています。福利厚生制度はAIAIグループ全体で充実した制度を設けています。			
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
AIAIグループのキャリアパス制度に沿って職員の個別育成計画を策定しています。職務分掌表は事務室内に掲示し、いつでも閲覧できるようにしています。人事目標は人事評価シートを使用し、年度初めに施設長と職員が話し合い、合意のもと目標を設定しています。年度末には職員が自己評価し、施設長が評価基準に沿って評価を行い、その結果を1on1ミーティングでフィードバックしています。年度末の自己評価では職員が一年間を客観的に振り返り、自分を正しく評価できるよう指導することで、翌年度への意欲につながるような評価を行っています。			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
AIAIグループとして一人ひとりの希望に応じたキャリアパス制度が整備されています。施設長は個々の職員のモチベーションの維持・向上につながる声掛けをし、職員が能力や希望に沿って、キャリアアップできるよう、育成計画を作成しています。専門性を高めるためのライセンス制度も整備されており、主任・施設長に必要な知識やスキルを習得することができます。年1回職員の就業意向調査を行い、次年度の異動希望や要員体制の安定化に対応しています。人材確保のための求人活動はAIAIグループ本部が行っています。			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
AIAIグループの中長期の人材育成計画に基づき、AIAIグループの社内研修や外部研修を含めた研修計画を施設長が年初に作成し、職員が経験や将来のキャリアプランに応じた知識・技術の向上に取り組める環境を整えています。職種別の役割については職務分掌表にて明示しており、職位に応じて業務にあたっています。新卒職員にはOJT担当者と共育担当者を選定し、実務指導とメンターの役割を別々の職員が担っています。定期的に面談を行うことで、新卒職員が相談しやすく、周囲が悩みに気づきやすい環境を整えています。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
不適切保育・虐待防止の取り組みとして、「虐待の芽チェックリスト」による点検を年2回実施し、園内研修に活用して園の傾向を分析しています。保育士による虐待のニュースがあった場合はカンファレンスを行い、園で発生する恐れはないか、不適切な考え方・姿勢・言動はないかを改めて職員間で確認しています。問題点が見つかった場合は、虐待報告書作成マニュアルに沿って、施設長が当該職員と面談を行い、改善報告書を作成し行政ならびにAIAI本部に提出する運営になっています。			

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の利用目的を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント)			
個人情報保護に関する方針、個人情報の利用目的について、ホームページ、重要事項説明書に掲載しています。個人情報の利用目的や第三者への開示・提供については、重要事項説明書にて明示し、利用開始時に保護者の同意を得ています。園のブログ等に園児の写真を掲載することの可否についても、保護者に同意を得るとともに、保護者が園内で動画や写真を撮影することもお断りし、その旨を「園生活のお願い」にも記載して周知しています。職員に対しては、コンプライアンス研修を通じて、個人情報保護について周知徹底しています。また、実習生に対しては、実習生受入れマニュアルに基づき、オリエンテーションの際に個人情報保護を周知徹底する運営になっています。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
「保育園利用について」と「行事後アンケート」を実施し、保護者の評価や意見を確認しています。アンケート結果及び園からの回答はエントランスのカウンターに設置し保護者が閲覧できるようにしています。保護者との個人面談は年2回(1回は必須)実施し、意見や要望を直接話す機会を設けています。面談の結果は「個人面談記録」に記載し、課題があった場合は施設長と担任で改善策を検討し、フィードバックするとともに、職員間で共有する運営にしています。保護者から施設長との面談希望があれば、個別に対応しています。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
重要事項説明書に相談、苦情等対応窓口及び担当者を明記しています。苦情・要望の窓口(苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、弊社相談窓口)を記載した資料をエントランスに掲示し、利用者への周知徹底を図っています。AIAIグループとして、相談、苦情等に関するマニュアル(苦情対応規程、虐待防止・苦情対応マニュアル)を整備しており、相談、苦情等対応の結果は「相談・苦情報告書」に記録して問題点の改善を図り、利用者へ解決内容を説明して納得を得る運営としています。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
保育理念の因数分解を年2回実施し、保育の質について全職員で論議し、その結果を事業計画や園目標に織り込んでいます。パート職員を含む全職員が「保育内容等の自己評価シート」にて、自身の保育内容等について定期的(年2回)に自己評価をしています。施設長と職員が1on1ミーティングにて自己評価結果を話し合い、改善すべき点があれば施設長が助言を行い、次の評価時に検証しています。今年は福祉サービス第三者評価を受審し、結果をWAMNETやホームページに公開する予定です。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的の実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
AIAIグループ共通のマニュアルやガイドラインが整備され、全職員が手に取りやすいように事務所に設置しています。職員会議や園内研修にてアレルギー対応、離乳食対応といったトピックを選び、マニュアルの読み合わせを行っています。日常業務で不明な点があった場合はマニュアルに立ち返り、各自が確認したうえで保育を実践しています。園独自のルールについては職員会議で話し合い、マニュアル化しています。また本部が作成したグループのマニュアルの定期的な見直しの際には、各施設がブロック会議にて要望を提案し、その意見を本部がマニュアルに反映する体制があります。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
保育園体験会および子育て相談会を開催(5月、7月、9月の年3回)し、開催日は法人のホームページやブログ等で案内しています。9月の体験会には5組16名と多くの方が来園しました。見学は可能な限り個別の意向や希望を尊重した日程で希望者と調整し、主に施設長が対応しています。子育て相談会では、療育が必要な子どもについてや、離乳食の進みが遅いといった個別の相談に対応しています。			

17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始に当たり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 入園前説明会において重要事項説明書を保護者に配布し、内容を読み合わせたうえで、同意書に保護者の署名をいただいています。園のルール、留意事項については、「園生活のお願い」に記載し、配布しています。「園生活のお願い」の内容については、保護者からの要望に応じて持ち物の見直しなどを定期的に行っています。幼児向けの有償の学習プログラムについても、入園前説明会にて説明し、多くのこどもが参加しています。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 「全体的な計画」は施設長と各委員(環境・安全・保健など)の担当職員で話し合い、策定しています。計画は保育園で過ごす時間が長時間化しているこどもが多いため家庭的に過ごせること、集団生活の中で社会性が身につくルールのある遊びを取り入れること、異年齢のこどもの関わりを取り入れることを重視し、保護者のニーズや行政からのアドバイスも反映して策定しています。施設長としての保育への考え方は職員との月に1回の職員会議や1on1ミーティングでの会話を通じて伝えるとともに、施設長も会議を通じ職員の考えを知り理解するよう務めています。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 「全体的な計画」に基づき、「年間指導計画」やこどもの生活や発達を見通した「保育計画」を作成し、それを踏まえた短期の月案、週案を作成しています。配慮が必要なこども、ならびに0～2歳児には個別支援計画を作成しています。特別な配慮が必要なこどもについては、園に隣接している障害福祉サービスを提供するAIAI PLUSと連携し支援計画を作成しています。各計画のねらいや保育内容は施設長と担任が連携して確認し、定期的に振り返り、課題があれば改善に努めています。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容及び方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 全体的な計画に基づき、年間指導計画、月案、週案を作成し、0～2歳児及び配慮が必要なこどもに対しては個別支援計画を作成しています。各計画のねらいや保育内容については、必ず職員会議で振り返りを行い、次の保育活動に活かしています。各保育室内の玩具は自由に取っ出でき、手が届きやすいよう配置し、危険箇所がないように場所を指定し整えています。保育者はこどもが主体的に活動できるよう、例えば製作で色を指定せず自由に選べるとか、またルール遊び活動の際、こどもたち自らルール説明を進めることができるなどの支援をしています。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容及び方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 日々の保育活動のクラス日誌を16時までに記入し、施設長に確認を得て、反省点があれば職員と施設長で振り返りを行っています。2ヶ月に1回ビデオカンファレンスを行っての振り返りの機会もあります。保育者はこどもへ愛情豊かな表情を見せ、受容的・応答的な言葉かけを多くする関わりを持っています。送迎時や連絡帳アプリを通じて、保護者とは密に連携を図り、相談にも迅速に対応し記録に残しています。複数担任でこどもの発達状況など、情報共有しています。			

22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 保育者はこどもが基本的な生活習慣(例えばロッカーに持ち物を入れる。手を洗うなど)について、自分でしようとする気持ちを大事にして見守っています。保育の見直しが必要な時間帯のビデオを撮り、他の職員も交えて改善点の意見交換を行っています。また、キャリアアップ研修を受けた職員は園内研修を担当して共有しています。送迎時や連絡帳アプリにて保護者とは密に連携を図り、相談にも迅速に対応し記録に残しています。こどもの状況などは昼礼やその後のクラスミーティングでも共通認識しています。			
23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント) 保育者はこどもが基本的な生活習慣(例えば 椅子の座り方、食具の使い方、役割に責任を持つなど)について、自分でやり遂げたという満足感を得られるよう、できたことを褒めるなどの配慮をしています。ビデオカンファレンスを行い、振り返りする機会を設けています。近隣の系列園と幼児プログラム 会議をオンラインで行っています。送迎時や 連絡帳アプリにて保護者とは密に連携を図り、相談にも迅速に対応し記録に残しています。担任間でこどもの状況(例えばトラブル発生の様子など)を具体的に理解し、共有しています。			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント) メダカの飼育やダンゴムシなどの観察を通し、生き物と触れ合う機会があります。また保護者が持ち込んだカブトムシの観察をしています。朝顔を栽培し色水遊びをしたり、ボディペインティングをしたり、落ち葉拾いで製作に活用するなど、季節やこどもの興味を考慮して保育活動に活かしています。近くの図書館へ月複数回出かけ、絵本の団体貸し出し利用をしています。連携する学校の校庭や校舎見学をする機会があります。お別れ遠足はバスと電車を利用し柏の葉公園へ出かけます。近隣農家と連携し、見学や芋掘りを体験していますが、今後草取りや土の手入れなども計画しています。おさんぽマップを掲示しています。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。
(評価コメント) 保育者はこども同士の関わりがスムーズになるよう、例えば 集団遊びの際は チーム分けやペアを様々な こども同士が組めるように声かけし、けんかやトラブルがあった際は(特に幼児クラス)、互いの意見を聞き、言葉にして伝えることができるよう援助しています。お当番活動(幼児クラス)を通じて、こどもは自発性を発揮し、友だちと協同して自分の役割を果たせる機会があります。普段から幼児クラスは縦割り活動で交流しています。乳児と幼児は園庭遊びで 一緒になったり、散歩の際、手を繋いで出かける姿があります。			
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント) 特別な配慮を必要とするこどもに対して、こども同士で意思疎通ができるよう、保育者全員が仲立ちとなって援助できるよう体制を整えています。個別支援計画に基づき、月に1回ケース会議を実施し、配慮の仕方について話し合いを行い、記録に残しています。今年度、職員3名が障害児保育研修を受講しています。こどもが通所利用する 専門機関(みらいーく、リタリコ)と連携し、情報も共有しています。AIAI PLUSの訪問(4月は週1回、以降月に1~2回)では、保育のフィードバックと助言を受けています。特別支援学校見学も予定通り行い、保護者と情報共有します。			

27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>引き継ぎ簿を使用し、保護者に伝える内容なども細かく漏れのないよう注意しています。職員全員がシフト制で担当し、ビデオカンファレンスでの研修を行っています。こどもが安心・安定して過ごせるよう、また、異年齢で過ごす際の配慮すべき事について合同保育時間の過ごし方・環境設定(おもちゃの選択など)・安全衛生対策についてのカンファレンスを2ヶ月に1回行っています。合同保育場所の案内を階段に掲示し、保護者が分かりやすいようにしています。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>年間行事予定表にて保育参加、保育参観、クラス懇談会、個別面談の実施をお知らせし、保護者との情報交換をし記録に残しています。また担任は保護者からの相談を受け、必要に応じて施設長に報告したり、直接保護者が施設長に相談する場合があります。外国籍家庭については該当者がいませんが、他園からの情報共有はしています。きょうだい児が4人在籍する家庭については、条件付きですがお迎えの負担軽減のため、保育者が親もとへこどもを連れて引き渡すなどのフォローをしています。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>小・中学校の生徒の体験学習などの受け入れ実績はなく、高齢者との交流はこれから計画があります。就学に向けての取り組みとしては、学校内の見学や校庭を使用することや運動会を小学校の体育館を借りて実施しています。また、散歩の際、窓越しに授業の様子を見せてもらうこともあります。保育所児童保育要録を小学校へ提出しています。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>虐待チェックリストを基に不適切な養育の兆候や虐待の疑いの早期発見に努めています。例えば着替えのタイミングで観察、体臭、同じ衣服を着ていないか、行動が荒くイライラしていないかなど様々な場面を観察しています。「子ども虐待通告報告書」を用意し、柏児童相談所や流山市子ども家庭課と連携しています。</p>		
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>年間保健計画を作成し、こどもの健康状態、発育・発達状態が把握できるよう、嘱託医による年2回の内科健診を実施し、結果を保護者に伝え、歯科健診については保健的指導について健診後、歯の磨き方のプリントを保護者に配布しています。また、毎月の身体測定の結果も連絡アプリで伝えていきます。健康カードも作成しています。登園時及び保育中のこどもの状況を毎日記録しています。SIDS対応(CCSセンサー使用、午睡チェック表記入)については、入園説明会にて保護者に説明し、毎月配信する園だよりのなかかに保健だよりとして周知もしています。職員はSIDSに関する知識を研修にて学び必要な取り組みを行っています。</p>		

32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画 (BCP) が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症が発生した場合、保護者への一斉メールと玄関ホールに感染症の種類・発症日・人数の掲示をし、口頭でも伝えていきます。感染症が 10 名以上発生した際は、流山市役所と保健所へ連絡し、その指示に従い、保護者には園だよりでの感染症周知をしています。職員は嘔吐処理マニュアルについての園内研修を定期的な受け、事務室、トイレ、各保育室内に処理一式を用意しています。保育中のこどもの体調不良やけがが発生した場合は、対応マニュアルに沿って応急処置を行い、嘱託医の助言を得て、受診が必要な場合は保護者に連絡し同行してもらいます。医務スペースを整え、救急用の薬品・材料等を適切に管理しています。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
栄養士は食育計画表を作成し、企画書(行事食、クッキングなど)の提出と実施後の振り返りを行っています。また、担当する保育者との話し合いを月1回以上行い、食事時の巡回や収穫体験と保育活動(野菜スタンプ)で、また土作り後の野菜の種まきなどでこどもたちと直接関わりを持っています。食物アレルギーマニュアルに沿って誤食防止に努めています。「アレルギー対応食引き渡し方法」での指差し口頭確認、確認印、専用食器使用などです。アレルギー対応にミスが起きた際は、事故報告書を作成し、再発防止に努めています。こどもが食事を楽しめるよう、無理強いしないことなどを社内監査の確認項目にて把握しています。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
季節毎の適正な温度、湿度を掲示し、午睡中の明るさ(電気を消さない、またはカーテンを閉め切らない)を保持するなどの環境に配慮しています。こどもの手洗いを促す保育内容(手洗いの仕方のイラストを掲示)を取り入れ、こどもに見やすくわかりやすく伝えています。室内外の整理、整頓については、毎日の早見守り表や毎月の環境チェック表を用いて徹底して行い、社内監査項目でも確認をしています。園内掃除の方法やトイレ掃除の方法を事務室内に掲示しています。			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
事故発生対応マニュアルに沿ってフローチャートを事務室内に掲示しています。毎月全職員によるヒヤリハット報告の提出とカンファレンスを行っています。大型遊具AINIと園庭(砂場なども)の安全チェックを毎日行い、安全対策のために職員は情報共有しています。不審者対策として年1回不審者訓練を実施し、不審者発見時の園内共通の合図(あいことばを決める)を設定し、防犯ボールや棒を備えています。散歩の際は「園外散歩記録」に記載し「園外保育点呼表」にて安全チェックを毎回しています。			

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
災害に備えた 危機管理対応マニュアルを整備し、緊急時における役割分担表を事務室と各クラスに掲示し、職員全員が周知しています。毎月の避難訓練は地震、火災、自治体のハザードマップを参照にした津波対策を想定して行い、流山南消防署立会いでの訓練も年2回実施し、自衛消防訓練実施報告書を提出しています。震度5以上の地震が発生した際、保護者へブログ、アプリで周知するマニュアルを整えています。避難訓練の様子がわかる写真をおしらせ コーナーに掲示しています。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
保育者は地域の親子が参加する、保育体験会(年3回実施)や園見学の中で聞き取りするなど、地域の子育てニーズを把握しています。保育園での交流の機会を設けています。その際、随時子育てについての相談・助言や援助を実施し、記録に残しています。玄関ホールに地域の子育て支援情報を掲示しています。			